

談 叢

米國ノ結核協會

田澤 錄 二

私ノ米國旅行中ニ恰度米國ノ National Tuberculosis Associationノ總會ガ開催サレマシタノデ、日本結核病學會ヲ代表シテ出席スベキヤウ北里會長カラ御電報ヲ受ケマシタ。依テ此旨ヲ同會ヘ申込デ置キマシタ處、總會ノ席ニ於テハ外國ノ代表者トシテ、非常ナル厚遇ヲ與ヘラレマシタノデ、之レハ特ニ會員諸君ノ御承知ヲ願ヒ置キタヒト思ヒ、尙本誌上ニ於テ會長 Dr. Lawson Brown 氏及ヒ幹事 Dr. Linsley R. Williams 氏等ニ對シテ深甚ナル感謝ノ意ヲ表シテ置キマス。序ニ又私ハ此機會ニ於テ簡單ニ米國ノ Tuberculosis Associationノ概況ヲ御紹介シテ置キタヒト思ヒマス。

米國ノ Tuberculosis Associationハ我國ノ日本結核病學會ト日本結核豫防協會トヲ兼テタモノデアアル。ソレガ各市ニ在リ又各州ニ在リテ、更ニ其上ニ National Tuberculosis Association トイフガアル。

今年一月一日現在ヲシテ地方的ノ T. A. ノ數ハ千二百八

十三ニナツテ居ル。財原ノ主ナルモノハ Christmas Sealヲ賣タ收益デアツテ、市ノ T. A. ハ賣上高ノ七五「パーセント」ヲ自分ノ許ニ保留シテ、二五「パーセント」ヲ州ノ T. A.ヘ提供シ、州ノ T. A. ハ二〇「パーセント」ヲ保留シテ五「パーセント」ヲ T. A.ヘ提供スルコトニナツテ居ル、而シテ一九二一ノ T. A.ノ會計報告ヲ昨年ノ記事ニ於テ見ルト「クリスマス、シール」ノ收入ハ十五萬三千二百五十五弗デアアル。之レヲ全米ニ於ケル賣上高ノ五「パーセント」ト見ルト其金額ハ莫大ナモノデアアルコトガ察セラレル。此外ノ收入ハ寄附金、會員ノ會費、雜誌ノ賣上ゲ其他デアアルガ主ナルモノハ「クリスマス、シール」ノ賣上金デアアルトイフ。

對結核戰ノ實地ノ仕事ヲヤツテ居ルモノハ、市ヤ州ノ如キ地方的ノ T. A.デアツテ、其仕事ハ各市、各州ニ於テ必ずシモ同一デハナイ、各自ガ夫々工夫シテ有益ナト思フヤウニヤツテ居ル。多クノ土地ヲ行ハレテ居ル主ナル仕事ヲ舉ゲテ見ルト、結核患者ノ外來診療ニ關スル事項ヤ、肺結核等ヲ發シソウナ兒童ヲ收容シテ衛生的生活ヲナサシムル Preventoriumノ事業ヤ、兒童ニ對スル衛生教育乃至衛生上ノ監理ナドハ重要ナモノデアアル。其他醫師看護婦等ニ對スル

診斷治療ノ講義又ハ患者ニ對スル 結核病院、「サナトリアム」等ノ案内ナドモヤツテ居ル。

州ト市ノ T. Y. ノ關係ニ就テ述ベルト州ノ T. Y. ハ市内ノ事ニ就テハ市ノ T. A. ニ對シテ助言ヲ與ヘルトイフ位ニ止メ、T. Y. ノナキ町村ナドニ對シテハ州ノ T. Y. ガ直接仕事ヲスルトイフ風ニナツテ居テ其間ハ極メテ圓滑ニ行ツテ居ル。

T. Y. ノ仕事ハ上記ノ如キ直接ノ實地的事業デナク例ヘバ會議、講演、助言、印刷物刊行等ノ如キモノデ醫學的方面ノ仕事、宣傳、教育ニ關スル仕事、療養所ノ建築ニ關スル事項等種々ノ方面ヲ包括シテ居リ印刷物ノ如キモ種々ノモノガ刊行サンテ居ル。其主ナルモノハ醫學的方面トシテ、The American Review of Tuberculosis 通俗教育ノ方面トシテ Journal of the Outlook Life ノ二者デアアル。總會ノ狀況ナドモ單純ノ學會トモ異リ、日本ノ結核豫防協會ノ模様トモ違フ。會議ハイタクモノ部門ニ分レテ居ル。今ソレヲ列記スルト次ノ如クデアアル。General Meeting, Advisory Council, Clinical Section, Pathological Section, Sociological Section, Nursing Section

是等ニ分レテ居リ、尙時ヲ同フシテ American Sanatorium

Association ノ會議ナドガ開カレル。

T. Y. ノ外ニモ、市ノ事業、又ハ州ノ事業トシテ結核撲滅ハ最モ、緊要ナ衛生事業トセラレテ居リ、中央政府ニ於テモ同様デアアル。是等行政機關ノ方面ノ仕事ト T. Y. ノ仕事トハ又極メテ圓滑ニ共同作業ガ營ムレテ居ル。例ヘバ學校生徒ノ診斷ヨスルトキニ州又ハ市カラ醫師ヲ出スト、T. Y. カラハ看護婦ヲ出ストイフヤウニシテ居ルトイフ話ナドガアツタ。又諸市ニ於テ結核患者ノ外來診療所ヲ見タガ、ソレニ在リテモ州又ハ市カラ建物ト醫師トカ又ハ尙看護婦トカラ出スト T. Y. ニテハ其仕事ガ甘ク有效ニ行ハレルヤウ、ソレト共同シテ學術的社會的等ニ色々ノ働キヲシテ居ル。紐育市デハ T. Y. デ患者ノ診察ヲシテ居ルヲモ見タ。然シ大體ニ就テイフト州ヤ市テハ病院ヲ建テ、ソレヲ管理シ、T. Y. ハ宣傳ニヨツテ輿論ヲ起シタリ、民衆ニ教育ヲシタリスルヲ重要ナ仕事トシテ居ル。又豫防の事業ハ患者ニ對スル仕事ト異ナリテ市ヤ州ノ豫算ニモ載セ惡クキ故自然 T. Y. デヤルコトガ多クナルトノ話デアアル。

米國ノ醫界デ最モ發達シテ居ル事業ハ公衆衛生事業デアツテ其中デモ結核問題ニハ最モ力ヲ盡クシテ居ルガ、併シ其他ニモ各種疾患ノ豫防ヲ目的トスル社會事業ガ多數アリ殊

ニ公衆衛生看護婦ノ會ナドガアツテ是等ガ皆「A」トハ圓満ニ相提携シテ活動シテ居ル

今年ノ「T. A.」ノ總會ハ第十九回目ノ Annual Meeting デアツテ六月二十日ヨリ二十三日ニ至ル四日間ニ互リ加州 Santa Barbara ニ於テ開催セラレタ。(尙其前日六月十九日ニハ全米「サナトリウム」協會ノ會合ガ同地ニ開カレタ)。私ハ日本結核病學會ヲ代表シテ出席シテ特別ノ厚遇ヲ受ケマシタノデ次ノ如キ演說ヲシテ置キマシタ。故ニ之レヲ左ニ揚ゲテ視察要項ノ一ツトシテ置キマス。

會長淑女竝ニ紳士諸君、

私ハ米國ニ於ケル結核撲滅事業ヲ視察スル爲メニ日本カラ來タモノデアリマス。私ハ此機會ニ於テ米國旅行中至ル所デ非常ニ御懇切ナル待遇ヲ受ケタコト及ビ今日、此御會合ニ列席スルノ光榮ヲ得タルコトニ對シ、厚ク感謝ノ意ヲ表シテ置キマス。併セテ茲ニ自分ノ視察シタ點ノ一、二ニ就テ申述ベテ置キタイト思ヒマス。

米國ニ於テハ「T. A.」ノ創立當時ト比較スルト今日ニ於テハ結核死亡率ハ半分ニ減ジ一年二十萬人ノ死亡減少ヲ見ルニ至ルト承リマシタ。然ルニ日本ニ於テハ遺憾ナガラ結核死亡率ガマダ高クアリマシテ、私ノ茲ニ所持シテ居ル統

計ハ次ノ如キ數字ヲ示シテ居リマス。

人口十萬ニ付全結核性疾患死亡比例

一九〇六	一九八	一九一三	二一〇
一九〇七	一九七	一九一四	二一一
一九〇八	二〇〇	一九一五	二一三
一九〇九	二二八	一九一六	二二一
一九一〇	二二四	一九一七	二二二
一九一一	二二五	一九一八	二五三
一九一二	二二九		

私ハ茲ニ日本ノ現狀ト比較シテ米國ニ於ケル結核死亡率減少ノ原因ヲ考究シテ見ルトイフコトハ、米國ノ醫師諸君ニ取テハ多少興味アル事柄デハナカラウカト考ヘマス。

此問題ニ對シテ、第一ニ擧グベキモノハ蓋シ米國ニ於テハ結核患者ガ早期ニ診斷サレ、早期ニ完全ナ「サナトリウム」ニテ治療ヲ受クルコトデアラウト思ヒマス。私ハ米國ノ「サナトリウム」ニテ治療ヲ受ケツ、アル患者ヲ見テ之レヲ我東京療養所ヘ入所シ來ル患者ト比較考察シタ時、單ニ此兩者ニ於ケル病症ノ輕重ノ相違ノミニヨツテ其死亡率ニ著シキ相違ノ生ズルコトハ看易キ事實ト考ヘマシタ。從ツテ又兩國ノ間ニ於テモ結核罹病率ノ相違ハ死亡率ノ相違程著シクハナイデアラウト考ヘマス。序ニ一言シテ置キマス

ガ日本ニ於テ早期ノ診斷治療ガ行ハレ惡イトイフ状態ハ開業醫ノ側ノ缺陷トイフヨリモ、寧ロ患者自身若クハ日本ノ社會ノ事情ニ責任ノアル問題デアリマス。

米國ニ於テモ罹病率ニハ死亡率程ノ減少ハナカラウガ、然シ兎ニ角ソレモ減少シタニハ違ヒナカラウト考ヘマス。此減少ノ原因トシテハ私ハ第一ニ米國人ガ日本人ヨリハ一般ニ休養ヲ多ク取ルトイフ事ヲ舉グベキデアルト思ヒマス。嘗テ我東京市療養所ニ於テ患者自身ガ肺結核發病ノ動機トナツタト考ヘル事項ヲ調査シマシタ時身體及精神ノ過勞トイフコトガ主タルモノデアリマシタ(遠藤、黒丸)。

一般ニ米國人ノ食物ガ榮養ニ富ンデ居ルトイフコトモ勿論甚ダ重要ト考ヘマス、仕事ノ困難ナ割合ニ食物ノ不完全ナトイフコトハ日本ニ於テハ問題トナリ易キ事項デアリマシタガ、殊ニ結核ノ素因ヲ有スルヤウナ虛弱ナル人間ニ取テハ然リト考ヘマス

爾他ノ諸項中最モ日本人ノ眼ニ映ズル所ノモノハ借家法ノ改良、戶外生活ノ獎勵、兒童養護並ニ爾他ノ諸疾患ノ豫防ニ於ケル進歩等デアアル。私ハ目下開會中ノ紐育市ノ二十五  
年記念展覽會ヲ見マシテ、兒童ノ死亡率減少ノ統計ト豫防シ得ベキ諸種疾患ニ因ル死亡率ノ減少ノ統計トニハ殊ニ大

ナル興味ヲ感ジマシタ。然シ米國ニ於ケル兒童養護ノ事業ハ結核豫防トイフ上カラ見レバ寧ロ將來ニ於テ年々益々其效果ヲ表ハシ來ル理デアルト考ヘマス。何トナレバ結核患者ノ多クハ兒童ヨリハモツト年齢進ンダモノデアアルカラデアリマス。

勿論、結核患者ノ隔離トイフコトモ結核ノ感染ヲ豫防スルトイフ點ニ於テハ有益デアアルニ違ヒナイ。殊ニ病原ヲ撒布シ易キ重症患者ノ隔離ガ乳兒及抵抗力ノ弱イ人間ヲ安全ナラシムルコトハ爭ハレナイ事實デアリマセウ

以上述べ來タ諸事項ヲ詮ジ詰メレバ第一ニ教育ノ功次デ爾他ノ公衆衛生事業ノ功ニ歸スベキモノデアルトイフコトガ日本人ノ眼ニハ殊ニ好ク看取サレマス。故ニ私ハ「コメン」ノ活動ニ對シテハ敬意ト賞讚ヲ禁ジ得ナイモノデアリマス。勿論其他ノ衛生上ノ協會又ハ教育上ノ協會ノ事業、官公衛ノ施設、民衆ノ經濟的援助等モ功ヲ分ツベキモノデアリ。殊ニ是等各種團體ノ間ノ cooperation ガ工合好ク行テ居ルトイフコトハ眞ニ讚歎ヲ值スル事柄デアルト思ハレマス。私ハ米國ニ於ケル此文明の事業、對結核戰ガ益々進展シテ一層燦然タル成績ヲ示スニ至ルコトヲ希望シテ止マナイ次第デアリマス。「ツベルクリン」等ヲ以テスル特殊療法及ビ

豫防法が現在ノ状態ニ止マツテ居ル間ニ結核患者ノ一般療法竝ニ生活條件ノ改善が結局如何ナル成績マデ表ハシ得ルカトイフコトハ興味深キ問題ト考ヘマス。日本ニ於ケル醫人ハ諸種ノ困難ナル條件ノ下ニ在ルノデアリマスガ今後ハ此方面ニ於テモ亦世界ノ文明的事業ノ爲メニ、一層協同努力ヲ勵ミタイト切ニ考ヘテ居ル次第デアリマス(感謝)。

上記ノ如キ米國ノ現状ヲ視察シテ之レヲ我日本ノ上ニ應用シ、社會事業ノ勃興ヲ計ラウトスレバ第一ニ問題トナルモノハ財源デアルガソレニハ又日本デハ他方面ヨリ見テ早晚改善ヲ要スル幾多ノ繁雜ナ事柄ガアル。故ニ識者相謀リテ、例ヘバ年頭狀其他ノ贈答乃至送迎等ニ於テモ美風トシテ保存サルベキ範圍以外ニ走テ居ルモノヲ整理シタリ、各種ノ迷信ニ依テ醸出サル、莫大ノ金額ヲ有益ニ轉用スル等ノ道ヲ講ズレバ、其事自身ガ既ニ有益ナル社會教育トモナリ、一舉兩得ノ策デハアルニイカト思フ。第二ニ問題トナルモノハ米國人ノ得意トスル Cooperation ノ精神デアルガ我國民ニハ之レモ今後ノ發達ニ俟タ子バナラス所ガ大デアル。現在ノ所デハソレガ不得手ナコトハ確カデアルカラ米國ノ如ク各種ノ會ヲ作チ協同スルトイフヨリハ最初カラ一ツノ

大キナ會ヲ作ツタ方ガ有力デアルト思ハレル。此點ニ就テハ近來米國デ Community Chest ト稱スル組織ノ精神ノ如キガ參考トナルモノデアラウ之レハ年々種々ノ社會事業ニ對スル寄附金ヲ一手ニ纏メテ募リ委員會ノ相談ニ依テ夫々適當ニ配分シテ用フルモノデアアル。醸金者モ頻々種々ノ寄附ヲ請求サル、ヨリハ應ジ易クシテ之レヲ喜ブ風ガアリ事業ノ上ニ於テモ有效ニ行ハレ易イトイフ話デアアル。今全然斯クノ如キ組織ニトイフコトハ日本ノ社會特大都市ニ於テハ行ハレ難イコトデアラウガ、唯ナルベク種々ノ事業ヲ合同スルトイフ精神ハ採用シテ然ルベキモノト思ハレル。少クトモ保健衛生ニ關スル範圍内ノ仕事ダケニ就テハソウ思ハレル。西洋ノ文明諸國デハ結核死亡率ノ減少ヲ大成功ト考ヘテ益々努力シツ、アル時我國ニ於テハ其ガ増加スルトモ減少スル傾向ノ見エザルハ文明國ノ醫人トシテ忸怩タラザルヲ得ナイ所デアアル。故ニ何レノ方面ヨリカ我刀圭界ノ發達ヲ國家ノ統計ニ於ケル數字ノ上ニ表ハシ來ルヤウ相提携シテ大ニ努力セ子バナラナイコト、考ヘ餘談ヲ附識シタ次第デアアル